

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成20年12月14日

事業所番号	2774600650	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	有限会社 介護センターかがやき		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	グループホーム かがやき	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
所在地	大阪府柏原市上市3丁目13番16号	評価調査日	平成 20 年 12 月 11 日
	電話 072-973-5105	評価確定日	平成 20 年 12 月 17 日

【情報提供票より】 (平成20年12月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年12月1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数 18人
職員数	19人 常勤 5人 非常勤 14人 常勤換算 13, 2人

(2) 建物概要

建物の構造	鉄骨ALC造り 2階建ての(1階～2階部分)
-------	---------------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	42,000円	その他の経費 (月額)	20,000円	
敷金	無 ()			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 200,000円	償却 有 5年		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,400円			

(4) 利用者の概要 (12月1日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	0名	要介護2	4名		
要介護3	6名	要介護4	5名		
要介護5	3名	要支援2	0名		
年齢 平均	81才	最低	61才	最高	94才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人大島医院 杉本歯科医院
---------	-----------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

運営者は開設以来、介護事業に熱意を燃やして取り組み、利用者は、ホームの理念として掲げた家庭的な団らんのような雰囲気の中で、楽しく共同生活を送っている。職員は日中、3人体制で介護に当たっているため利用者は十分な配慮を受けて過ごしている。又、開設以来、職員が見聞した記録をとりまとめ、これを介護計画の基本として、全員が毎日、活用している

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	前回評価での主な改善課題であった職員の研修は、積極的に年間計画を定めて実行している。また、近隣の自治会役員や関係者との交流も少しずつ進められている。更に、老人会、子ども会等幅広い年代との交流も目指しており、同一敷地内の他の事業の情報提供等の協力もしている
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	管理者が主体となって下書きを作成し、職員との協議を各項目について行いながら検討を加え、改善計画も作成された。現在、介護職員のうち勤続3年以上の者が11名となっており、利用者にとって気心が知れた暖かい介護が行われている。介護記録は職員の改善提案により、利用者一人ごとに指示事項も含めて、洩れなく日々利用している
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、ほぼ3ヶ月ごとに開催されている。毎回の討議は、ホームが用意した資料を基にして熱心に行われ、検討された内容は介護の改善に活用されている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	ご家族のアンケートの集計では、回答者の殆どが満足している。利用者の方々の高齢化が進み、今後の介護についてご家族と、ホーム側としての指針との話し合いを、機会あるごとに進めようとしている。運営者は職員の基準人員配置数よりも多くの人員を配置し、特に、ゆとりを持って介護に当たれるよう配慮している
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	日頃より外出、散歩時に会った近隣の方々との日常の挨拶を心掛けている。運営者は自治会、老人会、子ども会等の行事にも参加できるように、交流を心がけている。そして、グループホームの行事にも近隣の方々の見学や参加を勧めている。又、地元の中学生の職業体験学習は以前から協力して受け入れており、これは利用者にも喜ばれている

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	<input type="checkbox"/> 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は「家庭的な雰囲気の中で家事や趣味を通じ、住み慣れた自然の多い町で共同生活を楽しむ」を掲げている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	1階、2階のユニット毎に見え易い箇所に理念を掲げて、職員はもとよりご家族にも訴えている		
2 地域との支えあい					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	日頃から、ご近所の方々との挨拶を行っている。運営者は自治会、子ども会、老人会等との交流を更に深めたいと配慮している	<input type="checkbox"/>	ホームの設立からまだ4年ですから自治会、民生委員、老人会、子ども会等との交流は、長い目で見て少しずつ馴染んで行けることを期待します。焦らずにお付き合いください
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価は今回で3回目で、管理者が職員と協議しながら自己評価を行い、改善についても検討している		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議は定期的開催され、毎回熱心な討議が行われている。検討結果や提供情報を活用して介護向上につないでいる		
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームは市役所の近くにあり、利用者の散歩を兼ねて、担当窓口にも訪問し、挨拶をしている		
4 理念を実践するための体制					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	ご家族の来訪時には責任者が声をかけて、対話を心がけている。そして、利用者になんらかの変化があれば、すぐに電話連絡を行っている		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族には運営推進会議にも出席をお勧めして、自由に発言していただけるようにしている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設2年目以降は職員の退職は殆どなく、現在、3年以上の在職者が10名以上居り、介護は安定し、利用者への対応は向上している		

5 人材の育成と支援

	10 19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は年間計画を立てて、職員の内外の研修への積極的な参加を実施している。研修費は交通費も含め事業所負担としている		
	11 20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	前年度から引続き事業者連絡会等に参加し、事業所見学会への出席や受入れを行って情報交流が行われ、各ホームの向上の参考としている		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者の自宅を訪問して普段の生活状況を拝見し、また、ホーム見学や、ご家族も含めて納得して頂けるよう説明を行っている		
--	-------	---	---	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員の利用者への接し方、介護のあり方については、内部で話し合い研究や自己啓発等を進めている		
--	-------	--	---	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14 33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日中は、3人の職員が利用者の能力に応じた介護を行っている。		
--	-------	---	-------------------------------	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15 36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員はケースカンファレンスで、本人の立場になっての検討を行いご家族の希望も含めた計画作成を心がけている、また医師とも連携して、より良い計画を行っている		
--	-------	--	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	計画の定期的な見直し以外に、利用者に変化が見られた場合には、ご家族とも相談して、変更の検討を行っている		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所の多角的(訪問・通所・居宅支援)な特性を活かして利用者、ご家族への支援を行っている		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	当地域と周辺に認知症に詳しい医師が不在のため、地域内の各科の専門医のお世話になり、本人に合わせた各医師への受診の支援を行っている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご家族ごとや、家族会などで重度化、看取りに向けた話し合いをしているが、ホームとしては可能な限りの支援をしている。又、運営推進会議でも話し合いを進めている		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員にプライバシー・個人情報保護に関する規定を定め、周知させている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の業務推進を優先させずに、利用者の希望を優先させている		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は利用者に声掛けをして、出来ること、やりたいことを行うよう配慮している		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		○ 入浴を楽しむことができる支援			
23	57	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本の入浴日は定めているが、利用者の体調や希望に応じて入浴して頂いている		

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

		○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援			
24	59	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員が配慮して、利用者同志の会話や楽しみごとを、適宜にしている		
		○ 日常的な外出支援			
25	61	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している	体調や天候に合わせて、近所への散歩を支援し楽しんで頂いている		

(4) 安心と安全を支える支援

		○ 鍵をかけないケアの実践			
26	66	運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	共用居室や玄関の鍵掛けは行っていない		
		○ 災害対策			
27	71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災マニュアルを作成し、職員に周知させている。避難訓練は年1回実施している		

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

		○ 栄養摂取や水分確保の支援			
28	77	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分と食事摂取量のチェックは行われている		

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

		○ 居心地のよい共用空間づくり			
29	81	共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清掃、消毒は毎日実施されている。室内の装飾は季節感のあるもので演出されている		
		○ 居心地よく過ごせる居室の配慮			
30	83	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は毎日清掃されて、居心地よく過ごしている		